

予 算 額	支出済額及び支出率 (対予算)
議 会 費	49.4%
1億5,100万円	7,456万円
総 務 費	41.8%
19億1,280万円	7億9,946万円
民 生 費	34.0%
35億 134万円	11億8,932万円
衛 生 費	28.3%
5億 262万円	1億4,221万円
労 働 費	82.3%
2億3,491万円	1億9,325万円
農 林 水 産 業 費	14.6%
7億7,506万円	1億1,332万円
商 工 費	54.2%
5億8,238万円	3億1,563万円
土 木 費	20.4%
16億2,306万円	3億3,142万円
消 防 費	40.8%
3億6,747万円	1億4,993万円
教 育 費	44.0%
16億2,042万円	7億1,272万円
災 害 復 旧 費	0.0%
0万円	0万円
公 債 費	49.5%
11億6,585万円	5億7,668万円
諸 支 出 金	0.0%
5,000万円	0万円
予 備 費	0.0%
381万円	0万円
合 計	36.8%
124億9,072万円	45億9,850万円

(注) 予算額、収入済額、支出済額には、繰越明許費を含みます

予 算 額	収入済額及び収入率 (対予算)
市 税	59.8%
29億9,074万円	17億8,874万円
地 方 譲 与 税	30.8%
1億6,300万円	5,027万円
利 子 割 交 付 金	39.7%
1,200万円	476万円
配 当 割 交 付 金	49.1%
360万円	177万円
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	0.0%
200万円	0万円
地 方 消 費 税 交 付 金	58.0%
2億2,700万円	1億3,167万円
自 動 車 取 得 税 交 付 金	37.1%
4,500万円	1,667万円
地 方 特 例 交 付 金	100.0%
5,004万円	5,004万円
地 方 交 付 税	62.5%
38億6,623万円	24億1,508万円
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	47.7%
500万円	239万円
分 担 金 及 び 負 担 金	38.4%
1億9,790万円	7,593万円
使 用 料 及 び 手 数 料	49.7%
8,732万円	4,336万円
国 庫 支 出 金	28.3%
15億5,970万円	4億4,197万円
県 支 出 金	26.6%
12億1,941万円	3億2,378万円
財 産 収 入	61.7%
1,336万円	824万円
寄 附 金	28.3%
200万円	57万円
繰 入 金	0.0%
1,730万円	0万円
繰 越 金	123.8%
1億9,795万円	2億4,513万円
諸 収 入	2.8%
6億1,182万円	1,732万円
市 債	0.1%
12億1,935万円	70万円
合 計	45.0%
124億9,072万円	56億1,839万円

一般会計予算の執行状況 (9月30日現在)

平成22年度

一般会計 特別会計

上半期の状況

市では、年2回、市の財政状況を公表しています。今回は、平成22年度予算の上半期(4月1日から9月30日)における予算執行状況や市税の収入状況などをお知らせします。

市債の活用について

市債は市が大型事業を実施するために国などから資金を借り入れる長期債務(借金)です。本来、その年度に使う経費はその年度でまかなうのが原則ですが、公共施設の建設などには、一時的に多額の費用がかかること、将来の世代にわたって利用されることなどから、財源の不足を補い、年度間の財政負担を平準化し、次の世代にも費用を負担してもらうことで世代間の負担を公平にする効果があります。市では、市債の中でもなるべく普通交付税として後年度に国から財源措置される市債の借入れを行うこととしており、災害復旧事業や総合的な経済対策事業に充てています。9月末現在の残高は88億1,751万円(前年度月末比2.6%の減)となっていますが、そのうち57.4%にあたる50億5,789万円が普通交付税として後年度に財源措置されます。

目 的 区 分	現在高(一般会計分)
教育債(学校・図書館整備)	4億2,528万円
土木債(道路橋りょう整備・都市計画等)	13億3,509万円
◇ (公園等整備)	13億4,843万円
農林業債(農道・林道等整備)	6億4,586万円
消防債(防災・防火施設等整備)	1億6,286万円
衛生債(ごみ処理施設・火葬場等整備)	6億2,016万円
民生債(保育所・児童センター等整備)	3億9,682万円
その他(災害復旧事業・減税補てん債等)	40億8,301万円
合 計	88億1,751万円

また、現在高88億1,751万円のうち借入れ利率別の内訳は次のようになっています。市では国から認められたものについては積極的に繰上償還を行うなど、高い金利市債残高の減少に努めています。

利 率	現在高(一般会計分)	割 合
~2.5%以下	81億4,125万円	92.3%
~5.0%以下	5億1,359万円	5.8%
~7.0%以下	1億6,267万円	1.9%

特別会計予算執行状況

会 計 名	予 算 額	収入済額	支出済額
育 英 資 金	3,451万円	1,000万円	1,634万円
下 水 道 事 業	13億 455万円	1億8,111万円	5億2,371万円
簡 易 水 道 事 業	3億2,686万円	176万円	5,942万円
国 民 健 康 保 険	25億4,489万円	10億7,229万円	11億4,625万円
老 人 保 健	667万円	502万円	0円
後 期 高 齢 者 医 療	3億2,262万円	1億1,143万円	1億1,579万円
介 護 保 険 事 業 勘 定	25億2,906万円	8億7,081万円	10億2,946万円
介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定	1,181万円	449万円	228万円
農 業 集 落 排 水 事 業	5億2,531万円	1,480万円	1億1,282万円
市 有 林 造 成 事 業	7,693万円	42万円	1,553万円
特 別 会 計 合 計	76億8,321万円	22億7,213万円	30億2,160万円

市税の収入状況

	予 算 額	収入済額
市 民 税	12億3,491万円	5億9,397万円
固 定 資 産 税	13億5,705万円	9億3,010万円
軽 自 動 車 税	5,834万円	5,711万円
市 た ば こ 税	1億2,124万円	6,713万円
入 湯 税	3,116万円	1,235万円
都 市 計 画 税	1億8,804万円	1億2,809万円

市債の状況

会 計 名	現 在 高
一 般 会 計	88億1,751万円
特 別 会 計	57億4,440万円
下 水 道 事 業	2億 898万円
簡 易 水 道 事 業	14億2,585万円
農 業 集 落 排 水 事 業	4,687万円
市 有 林 造 成 事 業	162億4,361万円
合 計	

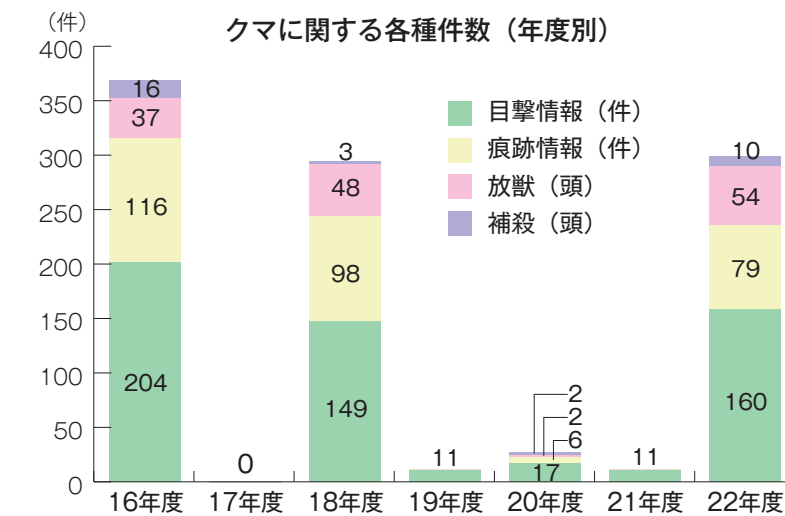
今年度の鳥獣害状況について

今年度は、市内各地でクマが頻繁に出没し、人身被害(4件)も起きました。

また、イノシシやカラスによる被害も増えています。これらの捕獲状況・市の対応および取り組みについてお知らせします。

(データ提供: 林業振興課 ☎88-8121)

※有害鳥獣駆除は、いずれも猟友会のご協力を得て対応しています



平成22年度クマに関する各種件数

目 撃	痕 跡	放 獣	補 殺
160件	79件	54頭	10頭

(数字は11月29日現在)

県調査によると、奥山の木ノ実が凶作であったため、エサを求めてクマが集落付近へ移動してきたと考えられます。これは、大量出没した平成18年度と同様の傾向でした。

クマ出没時の市の対応

- クマの出没時は、猟友会、警察、区長、市の関係課、県自然環境課および自然保護センターなどと連絡を取り合い対応しました
- クマが頻繁に出没する場所には、クマ用の捕獲檻を設置し、捕獲した場合は、山奥へ放獣することを基本としています。人身被害の防止を優先するために、やむをえず捕殺したケースもありました
- クマの出没情報を、市民に緊急メールで配信、被害防止のためのチラシを3回全戸配布し、また、防災無線や広報車により注意喚起の強化を行いました



檻の設置状況

クマについては、冬の訪れとともに目撃や捕獲などが少なくなっていますが、今後とも十分にご注意ください。

イノシシ・カラスの捕獲状況

	22年度捕獲	21年度捕獲
イノシシ	181頭	31頭
カラス	107羽	0羽(未実施)

(数字は11月6日現在)

イノシシ・カラスの対応

- イノシシによる農作物被害の防止、軽減を図るため、各地区からの捕獲要請を受け、市内各地に58基のイノシシ檻を設置。昨年の6倍の捕獲数となっています。捕獲後の最終処理は、地元のご協力をいただきました。
- カラス対策として、7月中旬から10月下旬にかけて、カラスの捕獲檻を新規に設置し、猟友会のご協力のもと、駆除を実施しました



カラスの捕獲檻

捕獲されたイノシシ